

解説シリーズ —気象学におけるインターネット—

解説シリーズを始めるに当たって

最近「マルチメディア」や「インターネット」の言葉が一般の新聞・雑誌に頻繁に登場し、パソコン雑誌にはより頻繁に特集が組まれています。また、インターネット専門の雑誌も複数登場し、「インターネット」を表題に謳った和書単行本も10冊をくだらないでしょう。所属組織がインターネットに参加していなくても、大手のパソコン通信網を通じれば接続は可能になっていますし、インターネットへ直接アクセスできるネットワーク提供団体への個人加入も手の届く値段に下がってきました。しかし、多くの会員にとって、インターネットはまだまだ身近な存在ではないのではないのでしょうか。

そこで、「天気」編集委員会では、実際にインターネットを活用して研究活動を行っている複数の会員に、気象学においてインターネットはどのように利用されているかや、どういう変化をもたらすのかなどについて解説をお願いしましたところ、それぞれお忙しいなか原稿をお寄せいただき、気象分野におけるインターネットの利用に関する以下のような内容の連載解説シリーズをまとめることができました。この解説シリーズが、インターネットやインターネットと気象学との係わりに対する、会員の皆様の理解を深めることの一助になれば幸いです。

（「天気」編集委員会）

解説シリーズ「気象学におけるインターネット」概要

第1回

- ・インターネットについて
- ・気象学におけるインターネットの利用の概要
- ・米国大気科学研究センターにおけるサービス
- ・衛星画像サーバー（東北大）

次回以降

- ・衛星画像サーバー（東大、外国）
 - ・ネットワークに基づく衛星画像データセンター構想
 - ・地球流体電脳倶楽部
 - ・ymnet
 - ・TOGA-COARE, TOGA-TAO
-